

尼崎市提案型事業委託評価表

作成日 平成30年3月26日

事業名	あまがさき環境オープンカレッジ推進事業・環境活動団体ミーティング事業 (環境保全の啓発・活動支援事業費の一部)
事業者の名称	NPO法人 あまがさき環境オープンカレッジ
契約期間	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日 (1 年目)
業務の概要	あまがさき環境オープンカレッジ事業に係る事務局業務等
所管課・課長名	経済環境局 環境部 環境創造課 吉岡 辰郎
評価対象期間	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 2月28日

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	A	講座を受講した市民が講座を提供する側に回る仕組みを構築、実施するほか、受託者が中心となり、市内の環境活動団体が連携して実施するイベントを企画する等、シチズンシップの向上に寄与している。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	A	事業計画書に基づき、事業を実施している。収支状況も良好である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制			
人員配置	合理的な配置であるか	A	各種マニュアルが整備され、安定的な運営がなされている。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習、活動の拠点施設を駅前に開設・運営 ・あまがさき環境オープンカレッジの事務局業務 ・環境関連図書、環境学習支援用品の管理・貸出・補充 ・環境団体のネットワークの構築を目的とした環境活動団体ミーティングの開催

取組んでいる事業内容等の評価
<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設で定期的に開催する講座も定着し、毎回、一定数の参加者がみられる。拠点施設の認知が進むとともに、市民の日常に環境活動が根付ききっかけとなっている。 ・平成29年度より新たに委託した環境活動団体ミーティング事業では、市内で活動する団体をテーマごとにつなげ、市内の団体が連携して実施するイベントを企画し、実現に向けて動いている。

総合評価	評価の理由、今後の課題等
A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業委託が2期目を迎え、市民主体の環境活動が安定して行われている。 ・市の環境施策を進める上で、どのように啓発を進めるのが効果的であるか、市と共に考え、講座の内容についても積極的にスクラップアンドビルドを提案している。 ・以前施設があった場所の近辺に自ら同等の移転場所を見つけ、交渉し、速やかに移転した結果、市民サービスに支障なく拠点施設を移転することができた。 ・環境活動団体ミーティング事業では、環境団体の連携を促進し、市内の環境活動の活性化に寄与している。 ・今後は、取組を広く周知するための広報の手法や、参加者が主体的な参画者となっていくような取組について検討していく必要がある。

* 評価は、A～Dの4段階評価とする。

* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1～3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

* (評価項目2, 3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。

尼崎市提案型事業委託評価表

提出日 平成31年3月15日

事業名	あまがさき環境オープンカレッジ推進事業・環境活動団体ミーティング事業 (環境保全の啓発・活動支援事業費の一部)		
事業者の名称	NPO法人 あまがさき環境オープンカレッジ		
契約期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日 (2年目)		
業務の概要	あまがさき環境オープンカレッジ事業に係る事務局業務等		
所管課・課長名	経済環境局 環境部 環境創造課	小島 寿美	
評価対象期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日		

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	A	環境活動を実践する担い手を育成するための講座を実施するほか、テーマごとに市民環境団体をつなぐプラットフォームの役割を担う等、シチズンシップの向上に寄与している。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	A	事業計画書に基づき、事業を実施している。収支状況も良好である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制			
人員配置	合理的な配置であるか	A	各種マニュアルが整備され、安定的な運営がなされている。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習、活動の拠点施設を駅前に開設・運営 ・あまがさき環境オープンカレッジの事務局業務 ・環境情報誌の発行業務 ・環境関連図書、環境学習支援用品の管理・貸出・補充 ・環境団体のネットワークの構築を目的とした環境活動団体ミーティングの開催

取組んでいる事業内容等の評価
<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設で定期的に開催する講座も定着し、毎回、一定数の参加者がみられる。また、環境活動の担い手を育成するための講座を実施する等の工夫も行い、ボランティアスタッフとして参加する市民も増えてきており、市民が環境活動を実践する場にもなっている。 ・環境活動団体ミーティング事業では、受託者がプラットフォームの役割を担い、市内で活動する団体をテーマごとにつなげ、平成30年度には川で活動する団体が連携して川遊びイベントを企画実施した。

総合評価	評価の理由、今後の課題等
A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業委託が5年目を迎え、市民主体の環境活動が安定して行われている。 ・市の環境施策を進める上で、どのように啓発を進めるのが効果的であるか、市と共に考え、講座の内容についても市民目線で質の向上に努めている。 ・公害学習について、ロールプレイング形式の体験型学習プログラムの開発に取り組み、公害の歴史から対話を学ぶ「KOGAI QUEST」を完成させた。 ・環境活動団体ミーティング事業では、環境団体の連携を促進し、市内の環境活動の活性化に寄与している。 ・講座・イベントごとに対象者を明確にすることで広報範囲を絞り込むなど、より効果的な広報の手法を検討していく必要がある。

* 評価は、A～Dの4段階評価とする。

* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1～3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

* (評価項目2, 3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。

尼崎市提案型事業委託評価表

	評価実施年月日	令和2年3月24日
	作成年月日	令和2年3月24日
事業名	あまがさき環境オープンカレッジ推進事業(環境保全の啓発・活動支援事業費の一部)	
事業者の名称	NPO法人 あまがさき環境オープンカレッジ	
契約期間	令和元年4月1日 ~ 令和2年3月31日 (3年目)	
業務の概要	あまがさき環境オープンカレッジ事業に係る事務局業務等	
所管課・課長名	経済環境局 環境部 環境創造課	小島 寿美
評価対象期間	令和元年4月1日 ~ 令和2年3月31日	

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	A	今年度からアンケートの結果分析を行うことで市民ニーズの把握をし、講座内容に反映することで市民サービス向上を図った。また、環境学習と市内観光を組み合わせることで市の魅力を発信し、参加者のシビックプライドの醸成に寄与した。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	A	事業計画書に基づき、事業を実施している。収支状況も良好である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制			
人員配置	合理的な配置であるか	A	各種マニュアルが整備され、安定的な運営がなされている。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習、活動の拠点施設を駅前に開設・運営 ・あまがさき環境オープンカレッジの事務局業務 ・環境情報誌の発行業務 ・環境関連図書、環境学習支援用品の管理・貸出・補充 ・環境団体のネットワークの構築を目的とした環境活動団体ミーティングの開催

取組んでいる事業内容等の評価
<ul style="list-style-type: none"> ・市民、企業、行政が協働で実施することを意識し、講座の企画を行っている。また、環境活動の担い手を育成するための講座を実施する等の工夫も行い、ボランティアスタッフとして参加する市民も増えてきており、市民が環境活動を実践する場にもなっている。 ・環境活動団体ミーティング事業では、受託者がプラットフォームの役割を担い、市内で活動する団体をテーマごとにつなげた。令和元年度には市内各地区で「打ち水大作戦inあまがさき」等を実施し、参加した各団体と振り返りを兼ねた「打ち水サミット」を開催することで、市民団体に加え、民間企業を巻き込んだネットワークの形成が図られた。

総合評価	評価の理由、今後の課題等
A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業委託が2期目の最終年度を迎え、市民全体の環境活動が安定して行われている。 ・市の環境施策を進める上で、どのように啓発を進めるのが効果的であるか、市と共に考え、講座の内容についても市民目線で質の向上に努めている。 ・環境活動団体ミーティング事業では、環境団体や市内企業の連携を促進し、市内の環境活動の活性化に寄与している。 ・講座・イベントごとに対象者を明確にすることで広報範囲を絞り込むなど、より効果的な広報の手法を検討していく必要がある。

* 評価は、A～Dの4段階評価とする。

* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1～3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

* (評価項目2, 3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。